

令和2年3月発行

広尾っ子応援団だより (No.19)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



検証 広尾町コミュニティ・スクール元年

北海道 CS アドバイザーの櫻井氏は、平成30年度の町民説明会で「CS は、学校と地域が目標を共有し、広尾町の子どもを地域で育てる仕組みです。」と、導入のねらいを強調しました。（裏面の図を参照）

導入から1年が経過した広尾町 CS の現状を、このねらいに沿ってまとめました。

① 学校と地域が目標を共有する



（広尾小学校運営協議会）



（豊似小学校運営協議会）



（広尾中学校運営協議会）

●学校長は、教職員の自己評価の妥当性について、協議会から意見を聞くことができました。

●協議会は、調査データなど学校からの情報提供により、子どもの実態を踏まえた話し合い（熟議）ができるようになりました。

（広尾小）夢・目標に向かって、知的好奇心等

（豊似小）個性、コミュニケーション、自己肯定感等

（広尾中）自立と共生、克服、学習等

●学校長は、協議会の意見を聞いた上で、「学校運営の基本方針」を作成できるようになりました。

●協議会は、新年度の学校運営の基本方針を「承認」することによって、学校と目標を共有することができるようになりました。

●学校長は、共有した目標を目指すため、「支援要望」を地域に発信できるようになりました。

●協議会は、共有した目標を観点にして、「教育環境」を分析できるようになりました。

●協議会は、地域の強み・弱みを踏まえて、「方策」を検討できるようになりました。

（広尾小）ふるさと給食、盆踊りの工夫、授業への協力、広尾町の歴史の伝承等
（豊似小）登下校時の子どもへの声かけ、放課後の居場所、自然体験活動、学校農園等

（広尾中）地域での挨拶、地域行事への参加、町の産業・歴史学習への支援等

② 広尾町の子どもを地域で育てる

このねらいを達成するために、広尾町では「広尾っ子応援団本部」が右図の「説明」と「協働」を具体化する役割を担っています。

●保護者・地域住民への説明

学校運営協議会で話し合われた内容は「広尾町公式ウェブサイト」「広尾っ子応援団だより」「教育講演会」でお伝えしています。

特に、広尾町公式ウェブサイトでは、すべての協議会資料と「熟議」の内容を掲載しています。

●保護者・地域住民による協働

広尾町では、学校の要望に応える「支援」と、学校と共有した目標を目指す「協働」の取組の両方を展開しています。

【支援の事例】

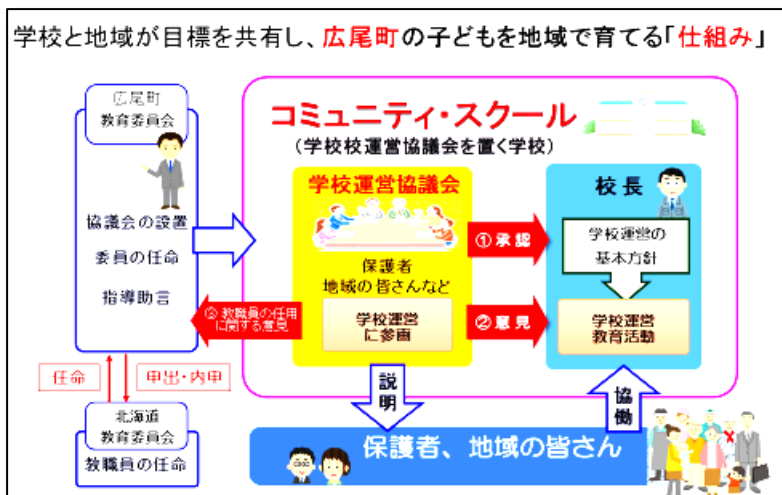
お店訪問（広尾小）
学校農園づくり（豊似小）
地域の歴史学習（広尾中）

【協働の事例】

ふるさと給食の参加（広尾小）
登下校時の声掛け（豊似小）
町内会行事の工夫（広尾中）

協議会資料・熟議まとめ

応援団登録、メッセージ
生涯学習まちづくりセミナー
放課後読書等ふれあい広場



北海道 CS アドバイザー桜井氏の講演から（平成30年8月）



各学校の令和2年度「学校運営の基本方針」

1月に開催された学校運営協議会の意見を踏まえて、各学校から令和2年度「学校運営の基本方針」が示されました。方針の要となる重点教育目標は次のとおりです。

新年度についても、各学校の教育活動に関心を寄せていただくとともに、ご支援をお願いいたします。

【新年度の重点教育目標】

広尾小…めあてをもって進んで学び、やりぬく子どもを育てる

豊似小…主体的な学びで、豊かな知識と人間性を磨き、自らが行動できる児童

広尾中…主体性と助け合う心を育てる【互助の精神】